

◇ 光プロジェクト 「総合的な探究の時間」 補助講座

東京地方裁判所（刑事裁判傍聴）および 中央省庁 訪問

- 日 時 ○ 令和5年12月13日（水） 9時50分～18時45分
- 参加者 ○ 本校2年生希望者 （39名）
- 場 所 ○ 東京地方裁判所 （東京都千代田区霞が関1-1-4）
 ○ 法務省 （東京都千代田区霞が関1-1-1）
 ○ 国土交通省 （東京都千代田区霞が関2-1-3）



☞ 本校では今年度も「総合的な探究の時間」の外部講師招請の一環として、法曹関係、または行政関係に高い関心を有する生徒たちに対し、「本物」に触れることでしか得られない気づきと学びの場を提供するため、東京地方裁判所での刑事裁判傍聴、および中央省庁（法務省・国土交通省）を訪問する機会を設定しました。

☞ 東京地方裁判所では、金属探知機で携行品のチェックを受けた後、指定された7階の小法廷に入り、実際の刑事裁判を傍聴しました。生徒たちにとって初めての傍聴であり、何といたっても実際の裁判を目の当たりにしたことがやはり強烈に印象に残ったようです。（後述の生徒感想をご覧ください）

☞ つづいて生徒たちは2班に分かれ、徒歩で隣接する法務省、そして桜田通りを隔てた国土交通省へと向かいました。「霞が関」を訪れるということで、はじめ生徒たちは緊張の面持ちでしたが、両省庁の方々の懇切丁寧な対応と説明を受けることができ、終了後は感激することしきりでした。



そして、生徒たちの訪問から半月足らず、元日に能登半島沖地震が発生しました。

各種報道などで国土交通省の方々が被災地への対応・情報発信に八面六臂の活躍をされている様子を目にするたびに、訪問の際に温かく迎えてくださった方々の表情が思い出されます。

生徒の感想にも「このように日本を支えてくださる方々がいるからこそ、今の私たちの生活が成り立っているんだと改めて感じた」という一文がありますが、日ごろから重要な責務を帯びて日々勤務されている皆様に、ご多用のなか温かく迎えていただいたことにつき、あらためて心から感謝申し上げます。ありがとうございました。



（左）法務省内の 1 コマ



（右）重要文化財「赤れんが棟」を背景に 1 枚

【生徒の感想から】

◇設問 1 あなたがこの事業に参加した動機は何ですか？

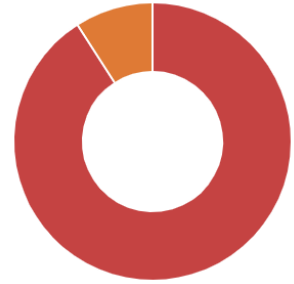
- ・裁判所や国家公務員の職に興味があったから
- ・裁判や国家公務員の仕事はテレビなどでなかなか見たりすることができないので、実際に行って見学することができる良い機会だと思ったから。
- ・将来、法律関係の職業に就きたいと考えており、以前から裁判の傍聴に興味があったため。
- ・将来希望する職業が検察官なので、
- ・進路選択についてまだ迷っている部分があったため、様々な分野について深く知りたいと考えたから。
- ・法学部に少し興味を持ち始めたから。
- ・小さい頃から司法系に興味があり、裁判の傍聴は貴重な機会だと思ったから。
- ・行きたい学部、なりたい職業という訳では無いが、なかなかない機会だから見てみたいと思った。
- ・大学に進むにあたって、どの学科に行くかの参考にするために現場を見たいと思ったから。

◇設問 2 この事業に参加して、最も印象に残っていることは何ですか？

- ・人生で裁判を初めてみて、裁判の印象がガラッと変わった。
- ・裁判所の傍聴席に座った時の空気の重さ
- ・裁判をするときに、被告人が裁判官に内容をすべて話すこと。
- ・今まで思っていたよりも、裁判は早くすすむということ。
- ・実際の裁判の流れや、どのように刑罰を決めるのかを説明していただいたこと。
- ・裁判の流れ。ドラマでよくあるようなものしかよく分からなかったので簡素な裁判は新鮮だった。
- ・法務省のつくりをすることが出来たこと。
- ・法務省で扱っている法律は全てではないこと。
- ・国土交通省の仕事を詳しく学べたこと。
- ・国土交通省の景観に関する事など、知らなかった取り組みについて知ることができたこと。

◇設問3 この事業への参加は、あなたにとって意義あるものとなりましたか？

- ・大いに意義があった … 90.9 %
- ・意義があった … 9.1 %
- ・どちらとも言えない … 0 %
- ・あまり意義を感じられなかった … 0 %
- ・意義を感じられなかった … 0 %



◇設問4 この事業に参加した感想を記してください。

- ・いつも中々見られないような法務省の中に入ることができ、貴重な体験となりました。また、法務省は法律に関する業務というイメージがありましたが、それ以外にも様々な仕事があり、驚きました。
- ・裁判にどのような方が関わるのか判決に至るまでの過程を具体的に知ることができ、裁判官の方が我々の質問にわかりやすく丁寧に応答してくださった。
- ・ドラマやアニメで見るような裁判のシーンと全然違っていて、被告人の有罪、無罪の判決や刑罰の重さを決めないといけないと考えると裁判官の責任の重さを感じた。
- ・日常生活では拝見できない裁判を見せていただきありがとうございました。
より一層検察官になりたいと思える体験でした。
- ・裁判や法務省内の見学は、仕組みや歴史について知るだけでなく、現在働いていらっしゃる方々から実際にお話を聞くこともできて、とても貴重な体験になりました。また、裁判の仕組みなど以前授業で学習したものを間近で見学することができてより理解が深まったと感じました。
- ・法務省という、普段はなかなか行くことのない場所に行き、仕事内容や歴史を知ることが出来て、貴重な経験になりました。
- ・法務省で法律についてさまざまな話を聞き、法律について興味を持てた。
- ・裁判を見ることはなかなかない機会なのでとても貴重な経験になりました。また法務省に行って裁判の歴史などを学びました。裁判の仕組みがとてもわかりました。ありがとうございました。
- ・自分の知らなかった事が多く知れてよかった。特に、国土交通省のまちづくりに関するお話はとても興味深くて、街の景観について様々な調査をして、その土地ならではの雰囲気を守ろうとするための取り組みは、街の歴史を大切にしようとしている事が伝わってきた。
- ・私の親が国土交通省の仕事をしているので、詳しく知らなかった仕事を知ることが出来て、良かったと思った。
- ・国交省は、最初道路関係以外の仕事内容がよく知らなかったものの、説明を通して自分たちの身近な所で活躍していることを学び、感銘を受けた。直接現地に赴けたのも、話を聞いたのもとても良かった。
- ・インターネットで調べただけでは分かりきれないような細かい情報や経験談などを聞けてよかったです。
- ・このように日本を支えてくださる方々がいるからこそ、今の私たち生活が成り立っているんだなと改めて感じた。